



御影北だより

令和2年度 10月号

神戸市立御影北小学校

<http://www2.kobe-c.ed.jp/mkk-es>



爽やかな秋風に、高く澄んだ空。大きく深呼吸したくなるような、気持ちの良い季節になってきました。

先月は、学校評議委員会を開催しました。学校評議委員制度は、学校が保護者や地域の皆様の信頼に応え、地域に開かれた特色ある学校づくりを進めるための大切なしくみのひとつです。今年度の学校評議員の方々は以下の通りです。本年度もよろしくお願ひいたします。

喜田 充 様	土居 雅子 様	加藤 修 様	中村 佳世 様
松尾 晴美 様	後藤 結香 様	岡 修一 様	藤井 英映 様
滝澤謙三郎 様	吉谷 修作 様	湯浅 明彦 様	
福西 亮一 様	池谷 真 様		

保護者や地域の代表の方々に、本校教育活動を評価していただき、更によりよい教育活動を実現していくために、年2回の予定で学校評議委員会を開催いたします。第1回では、学校評議員の皆様から、「学校HPが毎日更新されていて、子どもたちの様子がよく分かる。」「コロナウイルス感染拡大防止のための校内の消毒作業など、保護者や地域でできることはないか。」「学校の働き方改革に偏りすぎず、保護者や地域の本音が聞ける機会を大切にしてほしい。」等、様々なご意見をいただきました。ありがとうございました。

これからも保護者や地域の皆様のご意見に耳を傾け、子どもファーストな学校運営を心がけていきます。

さて、読書の秋・・・PTAより、学級文庫の本を購入していただきました。子どもたちは、朝の時間や休み時間等に読み進めています。ありがとうございました。

私は今「子育てベスト100」という本を読んでいます。その中で、著者の加藤紀子さんは、子どもは聞く力を身につけることで、学力、表現力や語彙力、集中力、我慢強さ、共感力といったさまざまな力を育むことができるとおっしゃっています。

授業の出発は聞くことから。聞けば分かり、分かれば楽しくなり、楽しくなればもっと知りたくなり、もっと知りたいからよく聞くようになる。このような学びの循環を、日々の授業で実現していきたいと思ひます。

「する子」から「すすんでする子」へ。「がんばる子」から「がんばりぬく子」へ。「たすける子・たすけられる子」から「たすけあう子」へ。ワンランク上を目指した言葉かけや支援の仕方を日々模索しながら、御影北小学校の教育活動を進めてまいりたいと考えています。

保護者の皆様・地域の皆様、今後とも、ご支援ご協力よろしくお願ひいたします。

教頭 坂田 仁

